「京都で学ぶアジアと日本」研修2016参加学生募集のお知らせ

《短期SENDプログラム 京都大学の学部生・大学院生対象》

 研修概要

2016年2月、京都大学国際交流推進機構国際交流センターでは、京都大学アジア研究教育ユニットとの共催で『「京都で学ぶアジアと日本」研修2015』（期間：２週間）を実施します。

このプログラムは、SEND双方向型教育プログラムとして企画されました。SEND (Student Exchange – Nippon Discovery) プログラムとは、ASEANを始めとする世界各地との架け橋になるエキスパート人材の育成を目指す事業で、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」の支援を受けています。

今回、インドネシア大学、シンガポール国立大学、チュラーロンコーン大学（タイ）、ハノイ国家大学（ベトナム）といった、ASEAN地域を代表する大学から、約２７名の学生を招聘・受入することとなりました。ついては、これら受入学生との交流・支援を目的に、本プログラムに参加する京都大学の学部生・大学院生を募集します。プログラムの研修費・交通費は大学負担、受入学生の支援には参加時間に応じて規定の謝金が支払われます。日本語・日本文化についての講義を受講したり、討論したりする中で、日本が持つ可能性、あるいは課題を見つめ直しませんか。

将来、長期留学、在外研究、在外勤務といった進路を考えている人はもちろん、海外の学生との交流に関心を持つ人の参加をお待ちしています。

 研修日程・内容 　2016年2月7日（日） ～ 2月20日（土）

|  |  |
| --- | --- |
| 2月7日（日） | 関西国際空港に到着（インドネシア／シンガポール／タイ／ベトナム） |
| 2月8日（月） | 開講式、オリエンテーション、歓迎会、キャンパス案内 |
| 2月9日（火）～ 2月18日（木） | 日本語・日本文化講義、文化講座、文化体験、学外研修、学生交流 |
| 2月19日（金） | 共同発表、修了式、歓送会 |
| 2月20日（土） | 関西国際空港より出発 |

募集人数： １５名程度　※定員に達し次第、締め切ります。

募集対象： 京都大学に在籍する正規の学部生および大学院生（国籍不問）

応募条件： 1．異文化体験・異文化学習に意欲を持つ者

2．国際交流に対して積極性があり、かつ責任感のある者

3．日本語非母語話者については、講義内容を理解するのに十分な日本語能力を有する者

応募方法： 次ページの応募書類に必要事項を入力し、下記の提出先に入力済のワードファイルを送信してください。

提出先： asean-send.6 \* mail2.adm.kyoto-u.ac.jp　（ \* を @ に変えてください）

問合せ先： 京都大学国際交流センター　　河合 淳子　　稲垣 和也

 京都大学国際教育交流課交流支援掛

 TEL：075-753-5678

Email：asean-send.6 \* mail2.adm.kyoto-u.ac.jp　（ \* を @ に変えてください）

※Ｅメールは、「京大受入プログラム」と題し、「所属」「氏名」を明記してください。

「京都で学ぶアジアと日本」研修2016 応募書類

 研修日程：2016年2月7日（日）～ 2月20日（土）

１．基本情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 姓 | 名 |
| フリガナ |  |
|  |  |
| アルファベット表記 | 国　籍 |  |
| 生年月日 | 西暦　　　　　年　　　月　　　日（満　　　歳） | 性 別 | □男　　　□女 |
| 所　　属 | 京都大学　　　　　　　　　　　　学部 ・ 研究科 |
| □学部（　　　　　）回生□修士（　　　　　）回生　　□博士（　　　　　）回生 |
| 学籍番号： |
| 指導教員（クラス担任・アドバイザー）名： |
| 連絡先 | Eメール | （ＰＣ）： |  |
| 　　　　　 | （携帯電話）： |  |
| 電話番号 | （携帯電話）： |  |
|  | （帰省先）： |  |

２．どの日程での参加を希望しますか。希望順（１＝高い）に1～3の数字を記入してください。なお、特に理由がない限り、2/8（月）と、2/19（金）の共同発表・歓送会は原則全員参加です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 数 字 | 日　　　　程 |
| 《全日程》 |  | 2016年2月7日（日）～ 2月20日（土） |
| 《前半》 |  | 2016年2月7日（日）～ 2月１4日（日） |
| 《後半》 |  | 2016年2月15日（月）～ 2月20日（土） |
| ※どうしても参加が難しい日時がある場合、記入してください。例） 2月16日は修論の口頭試問があるため、参加できません。（終日） |